

ホクレン営農支援情報

(2020年12月号)

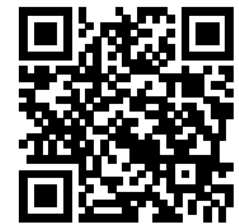
●ホクレン営農支援センターの取り組み成果集「START UP!」《営農支援推進課》

ホクレン営農支援センターは設立から今年で5年が経過しました。その間に実施した主要な取り組みや成果を「START UP!」にまとめました。生産現場のさまざまな課題や要望に対して、JAや関係機関と連携して取り組んだ優良事例を掲載していますので参考にしてください。

なお、掲載内容は右記 URL からご覧いただけるほか、アグリポート 28号から毎号2課題ずつ掲載していく予定です。



<https://www.hokuren.or.jp/kouho/ap/?id=174>



START UP! 掲載内容

実証試験	真空播種機を使用した播種法の検討（飼料用とうもろこし）
	温風式子牛加熱装置「ぼかぼかウォーマー」の開発と普及
	隔離床養液栽培システム「ういずOne」による水稻育苗ハウスの有効活用と所得向上への取り組み
生産振興	水稻育苗ハウスを活用した高糖度トマトの栽培
	「菌密度診断サービス」を活用したアブラナ科野菜の根こぶ病対策
	「無代かき栽培」と「乾田直播栽培」の導入による新たな生産技術の確立と普及
労働力不足対応	分かりやすい冊子やリーフレットを活用した酪農技術の普及
	農作業パートの確保・拡充に向けた募集イベント
	JAとまごまい広域「農業パート募集説明会」を開催
	労働力不足解消に向けた新たな取り組み「ボラバイト」
	農作業の外部委託増加に応える新たな企業とのマッチングや人材育成の支援
	Webサイトを活用した労働力確保

● 新たな鮮度保持技術「iR フレッシュ」 《食品流通研究課》

「iR フレッシュ」は、青果物に特定の波長の近赤外光を照射することで鮮度を保持する技術のこと。光刺激が引き金となり、蒸散の抑制など青果物の各種抵抗反応が誘導され、鮮度保持につながるとされています。

食品流通研究課では、この技術の開発元である株式会社四国総合研究所と共同研究を進めています。そのなかから、ミニトマトでの試験結果をアグリポート 28 号（12 月 1 日発行）で紹介しています。ぜひご覧ください。

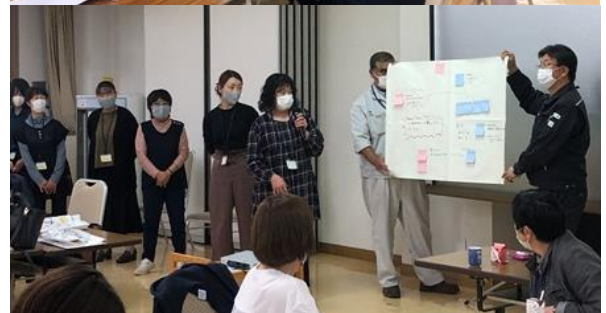


近赤外光照射の様子

● RAC30 留萌地区酪農女子研修会を開催 《留萌支所 営農支援室》

10月28日に初山別村で RAC30 留萌地区酪農女子研修会を開催しました。RAC とは、Rumoi Action of Clean milk の略称で、留萌管内の乳質向上を目的に地区酪農畜産対策協議会が取り組んでいる事業名です。

午前中はホクレン留萌支所および北海道中央会旭川支所より、生乳流通の実態や生乳の品質が収入に与える影響などの講習を実施。昼食時には訓子府実証農場で導入、効果をあげている牛温恵の紹介を挟み、午後からは各班に分かれてグループワークを行いました。グループワークでは優良事例や改善策についての討議・発表を行い、活発



な質疑応答があるなど有意義な研修会となりました。

●JA きたみらい女性限定スマート農業研修会 《訓子府実証農場 農産技術課》

JA きたみらいは、女性農業者を対象にした「女性限定スマート農業研修会」を11月5日に開催し、ホクレン訓子府実証農場職員が講師として協力しました。

当日は、JA きたみらい管内の女性農業者29名が参加。テーマである「スマート農業」に加え、「農作業安全」に関する講義を受講しました。「スマート農業」のカリキュラムでは、座学で基礎知識を学んだほか、自動操舵トラクターの試乗やアシストスーツの試着を体験。「農作業安全」のカリキュラムでは、農研機構安全技術の積ユニット長と紺屋氏の解説で、ポテトハーベスターやオニオンピッカーの実機を見ながら、事故防止のポイントなどを学びました。



●自動操舵トラクターを導入している生産者の声を紹介 《スマート農業推進課》

北海道内でも急速に普及が進む自動操舵トラクター。ホクレン RTK システムも多くの生産者が利用しています。これらを利用している生産者に、使用した感想など伺いました。

話を伺ったのは、JA きたみらい管内の水留さんと河野さん。JA きたみらい管内は現在全

組合員戸数の四分の一にあたる約 250 戸が自動操舵技術を活用しており、そのなかでもお二人は早い時期から導入しています。二人はそれぞれ異なるメーカーのガイダンスシステムを使用していますが、いずれにおいても「疲労軽減」「作業精度の向上」などのメリットを感じています。

詳細はアグリポート 28 号（12 月 1 日発行）で紹介しているほか、YouTube アグリポートチャンネルでインタビューをご覧ください。



<https://youtu.be/d8vh63KPBSQ>

●アグリポート 28 号を発刊 《営農支援推進課》

12 月 1 日にアグリポート 28 号を発刊しました。特集は「輪作で持続可能な畑づくり」です。

健全な土壌の形成、維持は農業の基本であり、そのために「輪作」は有効な手段です。「輪作」の効果を改めて解説しているほか、道内各地の優良な取り組み事例を紹介しています。

また、「あの人のビューポイント」ではホクレンの篠原会長を取材。「農家しか知らないから、ほかに趣味がない」と話す篠原会長の農業に対する思いをぜひご覧ください。



● RTK と自動操舵について学んでみよう 《営農支援推進課》

YouTube「ホクレン アグリポートチャンネル」では、スマート農業講座を配信しています。現在 3 本の動画で構成しており、RTK やガイダンスシステム、自動操舵補助装置について、スマート農業推進課の木谷主査が解説しています。

例年であれば研修会などが多く開催される農閑期に入りましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で学習の機会が少ないと思います。こんな時だからこそ YouTube を活用してみたいかがでしょうか。

YouTube ホクレン アグリポートチャンネル

再生リスト「スマート農業講座」

- RTK-GNSS の基礎 【8:01】
- RTK-GNSS の精度 【6:29】
- ガイダンスシステム・自動操舵補助装置 【10:03】



https://www.youtube.com/playlist?list=PLtE5_OwNVtSnjWkBDaPmAdCGzkXOR5lx



● 読者アンケートにご協力ください 《営農支援推進課》

「ホクレン営農支援情報」の読者アンケートを下記 URL で実施しています。皆さまの率直なご意見をお聞かせください。よろしくお願いいたします。

【Web アンケートフォーム】（12月31日締め切り）

<https://jp.surveymonkey.com/r/W5F6SWD>



内容についてのお問い合わせは ホクレン岩見沢支所営農支援室 まで
Tel. 0126-35-1302 E-mail. 06einousien@hokuren.jp

発行：ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課
Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp